

## 概要

- 平成27年6月、官邸で安倍総理出席の下、小売業、飲食業、宿泊業、介護、トラック運送業の5分野の業界団体・事業者等を集め、「サービス業の生産性向上協議会」を開催。
- 製造業等の専門家からの助言を得て、生産性向上に向けて課題解決を図る活動を展開。
- これらの成果をもとに、平成29年5月、総理をヘッドとする「生産性向上国民運動推進協議会」を発足。労働生産性向上の国民運動を展開。

## 1. 開催日程等

第1回 平成29年5月24日(水)

第2回 平成29年6月21日(水)

場所: 官邸2階大ホール

安倍総理、加藤働き方改革担当大臣、労使団体、5分野の業界団体・事業者等約300人が出席

## 2. 各回の開催概要

- ・各分野のこれまでの成果を報告
- ・各業界代表者から横展開の取組みについて宣言
  - 【第1回】飲食業、小売業
  - 【第2回】トラック運送業、宿泊業、介護

## 3. トラック運送業の報告等

- ・取り組み事例
  - ①(有)早川運輸、②日通長崎運輸(株)
- ・事業者挨拶
  - ①(有)早川運輸 早川 孝雄 社長
  - ②日通長崎運輸(株) 本多 正昭 社長
- ・事業者団体代表宣言
  - 全日本トラック協会 坂本 克己 副会長(現会長)



### ○産業界代表(榊原経団連会長) 挨拶 概要

- ・トラック運送業の生産性向上のためには、**事業者の努力に加えて、発着双方の荷主の協力が極めて重要**であるということが浮き彫りになった。
- ・経団連としても、今後更に荷主の方々の協力を得て、物流の生産性向上に積極的に取り組んでいきたい。

### ○安倍総理 締めくくり発言 概要

- ・今日の報告でも、山梨県の早川運輸は荷主の協力の下、なんと44%の労働生産性向上に成功され、ドライバーの1日の拘束時間は、5時間30分も削減された。素晴らしい成果だと思う。
- ・こうした成果を上げるには、**荷主の皆さんの協力が必要不可欠**。
- ・荷主の経団連の榊原会長からも、経済界として、積極的に協力して頂けるとの力強い表明もあった。

## 着荷主との連携事例

山梨県の食品製造業では、流通センターへの商品配送を運送事業者に依頼しているが、着荷主側の倉庫では到着順の受付対応で荷待ち時間が長く、また手下ろしの荷役のため、ドライバーの拘束時間が長時間化していた。

このため、PCを活用した受付予約システムの活用とともに、パレットの規格を統一化し、発荷主から着荷主まで一貫パレチゼーションによる拘束時間の削減効果を検証した。

## 事業概要

**Before**  
発荷主 → 到着順受付 → 着荷主 (手下ろし・積替え) → 倉庫

**After**  
発荷主 → 着床時間予約 → 着荷主 (パレット下ろし) → 倉庫

予約受付システムの導入

スケジュールを共有

予約画面(抜粋)

予約編集

予約番号: 10003

お名前: 予約 次郎 様 [非会員]

荷降ろし場: 手降ろし場 荷降ろしバースの指定

ご予約日: 06/15 (月)

受付可能な時間: 13:00-14:00

オプション

従来から着荷主が保有し内部用に使用していたトラック予約・受付システムを運送事業者にも開放し、1時間単位の作業枠の予約を可能とした。※実証実験では運送事業者が着荷主に電話連絡し、着荷主が代理入力する方法をとった。

## 結果

➤ 手待ち時間の削減	4時間	→	▲ 3時間7分	→	53分
			拘束時間の短縮		
➤ 荷役時間の削減	2時間	→	▲ 1時間33分	→	27分

### 発荷主との連携事例

長崎県に工場がある食品製造業者では、パン等の食品を長崎県と佐賀県の工場で積み込み、宮崎県の着荷主のところに運送し、そこで空容器を長崎県の工場に返却する一連の輸送を運送事業者へ委託しているが、走行距離の長さや荷役作業・附帯事務の多さから拘束時間の長時間化が課題となっていた。

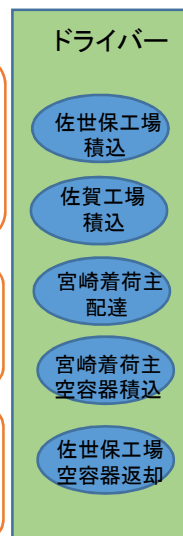
このため、積込担当のドライバーを集荷先に配置することで荷役と運送とを分離するとともに、高速道路利用可能な区間は全区間で高速道路を利用することにより、拘束時間の削減効果を検証した。

### 事業概要

3箇所ある積込箇所全てで  
ドライバーが積込作業を  
実施

空容器を当日夜間に  
ドライバーが返却

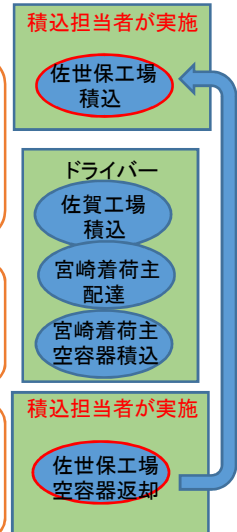
高速道路利用が可能な箇所  
の一部で一般道を利用



車庫から最寄りの積込箇所(佐世保工場)は別の積込担当者を配置し、荷役と運送を分離

空容器を翌日朝に  
積込担当者が返却

利用可能な全区間  
高速道路を利用



### 結果

15時間40分

拘束時間の短縮

13時間30分

▲2時間10分  
(うち高速道路利用分▲44分)